

平成30年度 学校経営計画

大田区立糀谷小学校

校長 森 伸一

I 学校経営の基本理念

子供たち一人一人の能力を伸ばし、社会において自立的に生きる基礎を培い、国家・社会の形成者を育成することが義務教育の目的であることを踏まえ「おおた教育振興プラン2014」に基づき糀谷小学校の特色を活かした学校経営を行います。

教育活動の展開においては、生命及び自他の尊重を基盤として、基礎的な学力の確実な定着、他者への思いやりや規範意識、人権尊重意識の育成、体力の向上と**道徳教育の推進、特に基本的生活習慣の確立**を本校の最重要課題として位置付け、学年の発達段階に応じた教育活動を系統的に行っていきます。

また、学校支援地域本部「スクールサポートこうじや」を中心とした地域力を活かした教育活動を取り入れ、家庭・地域との連携をより一層推進して行きます。

さらに、特別支援教室「サポートルーム」を有効活用し、特別支援教育の推進・充実に努めます。

II 本校の教育目標

人間尊重の精神に基づき、知・徳・体の調和のとれた感性豊かで、心身ともに健康で生きる力を兼ね備えた児童を育成します。

- 元気な子・・・たくましく生きるための意欲と健康と体力をもつ子
- 考える子・・・知識を習得し、よく考え課題を解決する子
- 思いやる子・・・差別や偏見を受けず自他を大切にできる子

III 目指す学校像

全教職員が、一丸となって「チームこうじや」の精神で、教育活動に邁進します。全教職員がサービスの厳正に努め、創立142年、開校66周年という歴史と伝統ある糀谷小学校のこれまで築いてきた教育実践の成果を確実に継承します。

また、現在の教育課題を的確に捉え、将来を見据えながら特色ある教育活動を展開してまいります。そのために具体的な学校像を実現します。

- 保護者・地域から信頼され、安心して預けられる学校
- 確かな学力を保証する学校
- 豊かな心を育成する学校

IV 目標を達成するための基本方針

(1) 子供が生き生きと活動する学校

- ① 児童の興味・関心、日常生活に関連付けた指導内容や指導方法の工夫・改善を図ります。アクティブラーニングの視点に立ち、ICT機器を積極的に活用し日々の授業を充実させ、学ぶ

ことの楽しさを味わわせ学習意欲の向上を目指します。また、少人数指導や習熟度別学習など、個に応じた指導法や評価の工夫改善に努め、確かな学力の定着を図ります。

- ② 体力の向上を目指し体育的活動を推進し、運動好きな児童の育成を図ります。広い校庭を有する恵まれた環境を活用した、休み時間における全校、学年、学級の取組・クラブ活動・休み時間の遊びなどに積極的に取り組み、児童一人一人の体力を高めると共に、生涯を通じてスポーツに親しむ習慣の土台作りに努めます。
- ③ 道徳の授業を中心とした全教育活動を通じた道徳教育の推進や特別活動等を通して、自らの存在の大切さを自覚させると共に、他者との望ましい人間関係形成能力を育みます。こうした取組により、**自己肯定感を高める**と共に人権感覚を養い人権尊重の精神を育みます。
- ④ 心のサポート月間などの取組や、養護教諭、スクールカウンセラー、生活指導主任を中心とした教育相談体制の充実を図り、児童の悩みやいじめを早期に発見し適切に解決します。
- ⑤ 年間を通して、元気な挨拶の励行、早寝・早起き・朝ごはんの啓蒙に取り組みます。また、**歯磨き指導の取組等**を通して、**健康教育**を推進します。
- ⑥ オリンピック・パラリンピック教育、外国語活動、食育の取組を通して、ボランティア活動やおもてなしの心、海外や和食等に興味を持たせ、**国際理解教育の推進**に努めます。

(2) 保護者に信頼される学校

- ① 学校の経営計画や日々の教育活動を広く公開するとともに、学校ホームページや各種たよりの充実を図り、情報の発信に努めます。
- ② 日々の安全点検、安全指導を充実させ事故の予防を徹底させると共に、万が一の事故・災害の発生時には、児童の身体・生命の安全を第一に、迅速かつ適切な対応に努めます。
- ③ 保護者の相談を受け止め、家庭教育への適切な支援を行います。
- ④ 保護者の意見やアンケート結果を真摯に受け止め教育活動の改善に努めます。
- ⑤ 保護者会やPTA組織の活動を活用し、保護者と学校が協働して児童を育てる態勢を整えます。

(3) 地域に愛される学校

- ① 地域教育連絡協議会における地域の意見を受け止めると共に、地域の情報・協力を得て、地域と協働して教育活動を円滑に進めます。
- ② 学校支援地域本部「スクールサポートこうじや」の人材・機能を十分に活用し、これまで以上に地域の力を得ながら教育活動を充実させ、地域と共に**歩む**学校を目指します。
- ③ 学校の教育活動を積極的に発信するとともに、地域人材によるゲストティーチャーや地域施設、産業などの教育資源を活用した授業を展開し、地域に開かれた学校づくりに努めます。

(4) 教職員が職責を自覚し自らの力を向上させようとする学校

- ① すべての教職員が、将来の社会を支える人材を育てるという職務の崇高な使命を自覚すると

共に、児童一人一人に思いやりをもって豊かなコミュニケーションを図ることで、質の高い教育活動をめざす学校組織を作ります。

- ② 教職員が常に学ぶ姿勢をもち、校内研究授業、校内 OJT、各種研修会で互いに学び合い、情報交換し合いながら、指導力向上に努めます。
- ③ 様々な課題に対し各種委員会での組織的な対応を図り、早期に課題解決を図ることのできる教職員集団を目指します。
- ④ 管理職が教職員の悩みや苦労を共有し、必要とされる適切な指導・支援を行うことで、安心して職務に専念できる学校風土を醸成します。